

2. 宗像市のほ乳類

宗像市は旧福岡町、旧津屋崎町と合併した福津市、宮若市、岡垣町、遠賀町、鞍手町に挟まれる位置にあり、古賀市とともに近郊都市のベッドタウンとして発展してきた地域である。現在の宗像市は平成15年に旧宗像市と旧玄海町が合併し、平成17年には旧大島村が合併して、かなり広大な面積を占めている。その意味で環境管理計画策定の下に動物の生息状況を調査することは大いに意義がある。しかし、わずか1年間では乳動物の生息状況の全貌を把握することは至難の業である。

東郷及び赤間に古くからの民家が集中し、最近の人口集中は赤間駅の南側の自由ヶ丘から北へ、クリエイト通り沿いにのびてきている。あまり郊外には開発の手は伸びていない。その割には、となりの福津市と同様に生物相と各種個体群密度の貧弱なことが目立つ。

筆者の調査で直接、確認されたほ乳動物は5目7科10属12種であり、平野部と山林にはどの山林にも普通に生息している種の一部が確認されたに過ぎない。また、見識者の目撃情報によれば1目3科4属4種の生息情報が得られたので、宗像市には7目10科13属16種のほ乳類が生息していることが考えられる。住居密集地区での調査は実施していないので、この他にドブネズミとクマネズミが分布していることも考えられる。

この動物相の貧弱さは、宗像市の旧宗像市（南部）平野部ではかつてほぼ全域が田畑で覆われ、山林は薪炭林、スギやヒノキの植林地としてかなり山奥まで利用されていたことが原因ではないかと思われる。現状では周辺部の山林はほとんどが二次林か放棄された竹林である。一度、失われた野生動物は二度と帰ってこない。

次に確認されたほ乳類の内訳を表5-1に、その状況を示す写真を図版5-2～5-3に示した。また、実地調査による確認地点の分布状況は図5-1、アブラコウモリのソナグラムは図版5-4に示した。宗像市の見識者による目撃情報及び主要道路上で轢死したほ乳類の確認地点は図5-2に示した。

表5-1 確認されたほ乳類

名 称	実地調査	見識者の目撃情報
モグラ目		
コウベモグラ	○	
ジネズミ	○	
コウモリ目		
アブラコウモリ	○	○
サル目		
ニホンザル		○
ネコ目		
キツネ		○
タヌキ	○	○
イタチ類	○	○
テン	○	
ウシ目		
イノシシ	○	○
ニホンジカ		○
ネズミ目		
クマネズミ		○
ハツカネズミ	○	
ヒメネズミ	○	
カヤネズミ	○	
アカネズミ	○	
ウサギ目		
ノウサギ	○	○



小ほ乳類捕獲用のシャーメントラップ



林内に設置した落とし罠
図版5-1 実地調査方法



イタチの糞



テンの糞



コウベモグラの坑道



ノウサギの糞



ニホンイノシシの足跡



アケビの実についたテンの囓(かじ)りあと



カヤネズミの球巢

図版5-2 確認されたほ乳類の痕跡



ジネズミ（落とし罠に落ちたもの）

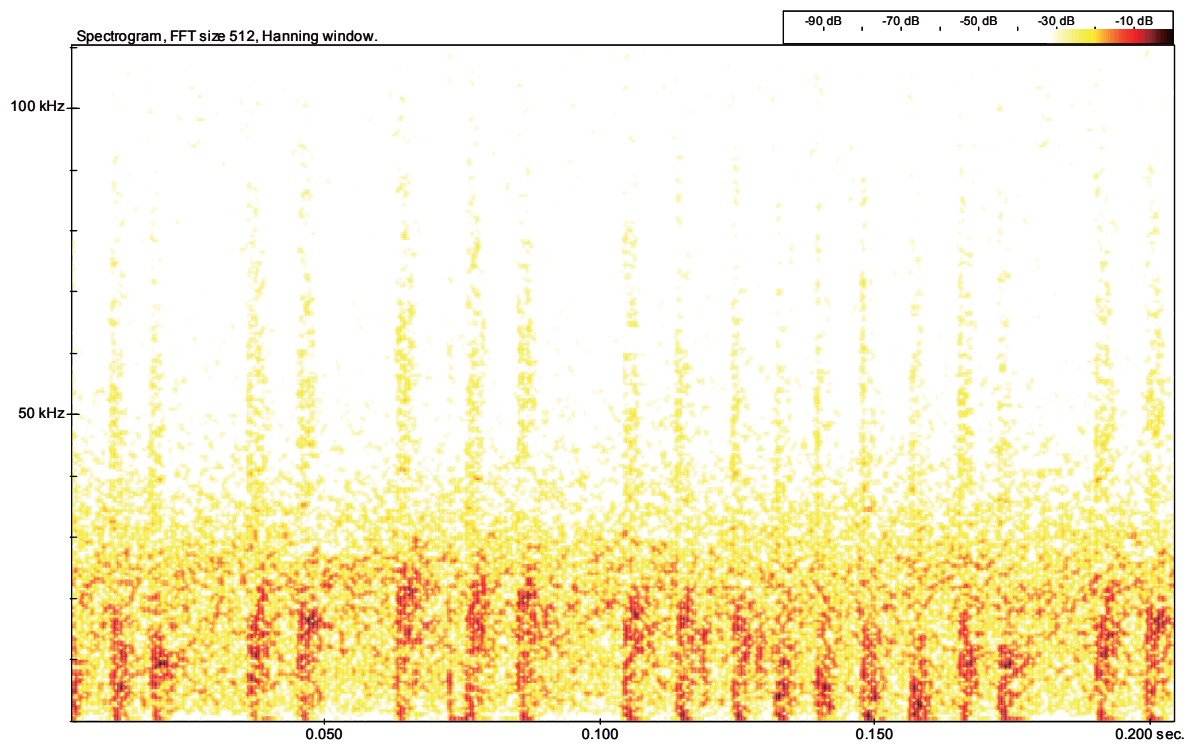


ハツカネズミ（大島）



ハツカネズミ（大島産の個体の腹面）

図版5-3 確認されたほ乳類



図版5-4 アブラコウモリのソナグラム

図5-1 実地調査によるほ乳類確認状況

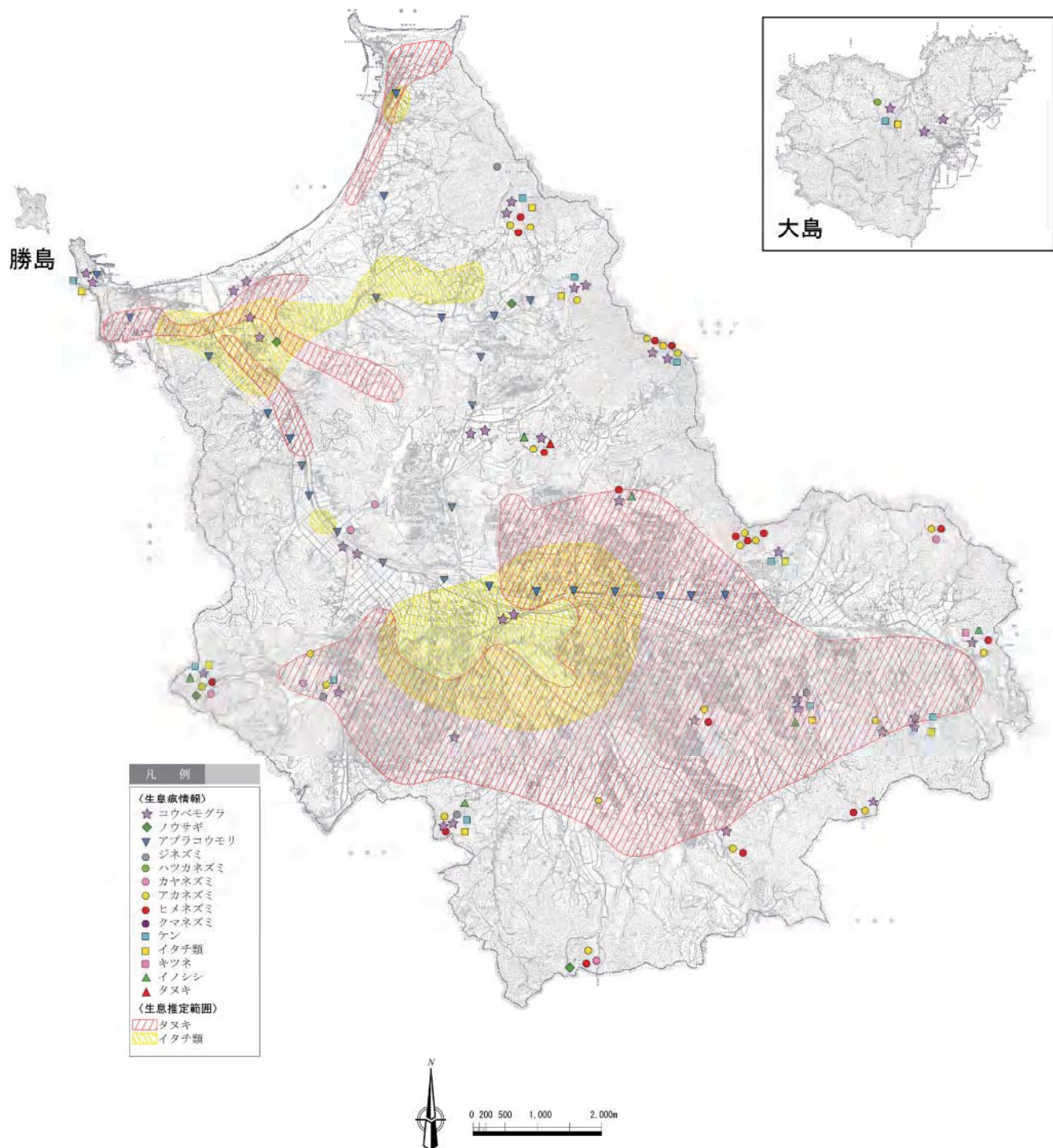
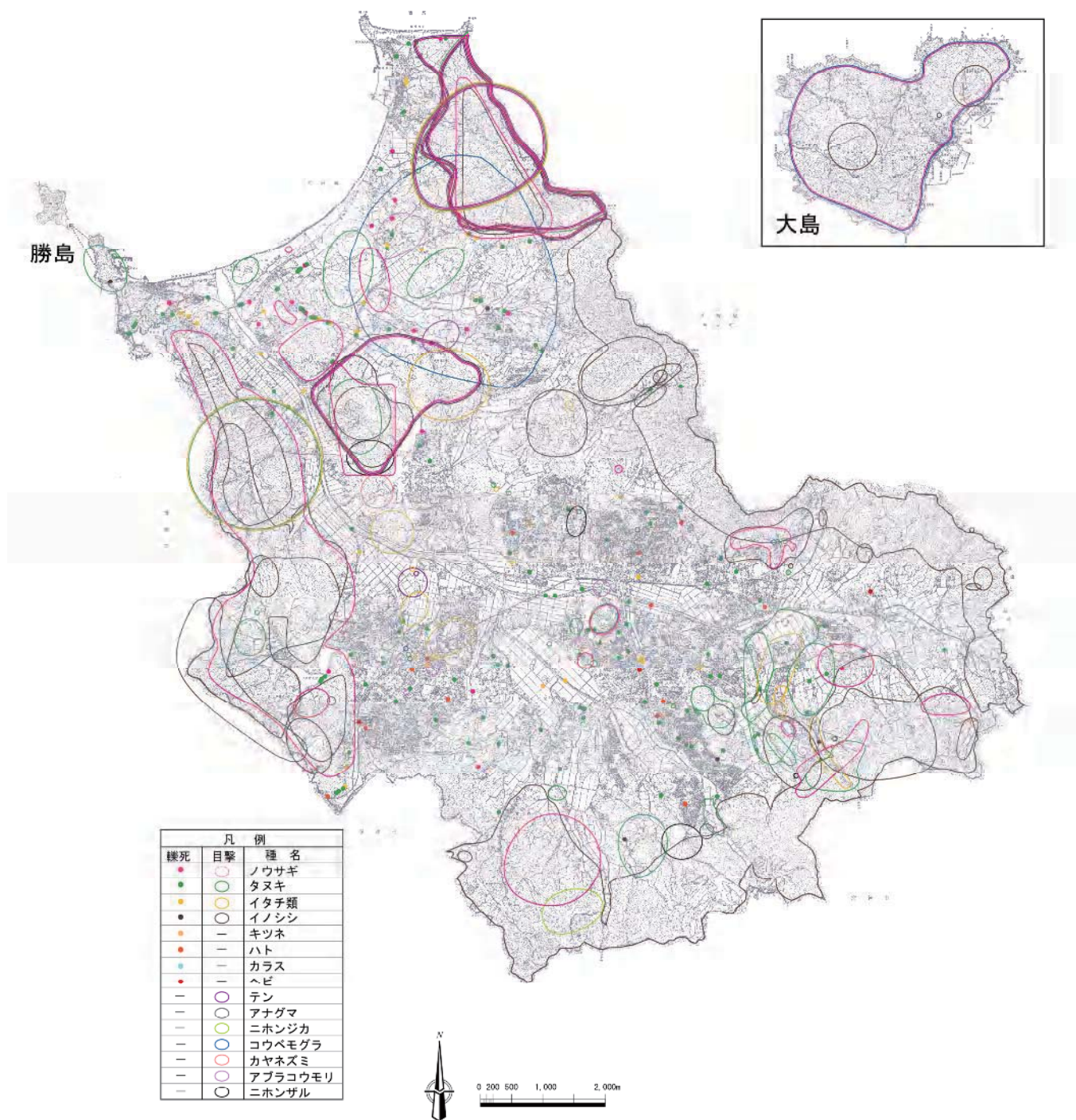
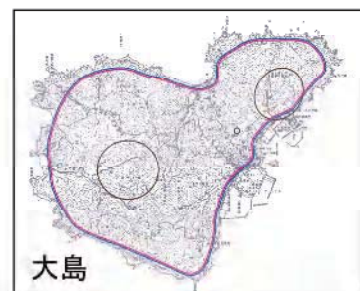


図5-2 見識者による目撃情報及び主要道路上で
轢死したほ乳類の確認状況図



(1) 小型ほ乳類の捕獲調査

シャーメントラップによる捕獲はことごとく成功しなかった。しかし、見回り時に時折腐乱したほ乳類拾得があり、その個体の計測値を表5-2に示した。拾得されたほ乳類は2目2科3属4種でいずれも繁殖状況は良好であり、これらの拾得された地域においては豊かな自然環境が備わっていることが示唆された。捕獲率の低いシャーメントラップの記録とは比べることは無理だが、福岡県内各地での環境調査の結果に比べて、かなり低いものであった。しかし、今回の調査ではコウモリ類に関する記録がかなり得られた点は特記すべきであろう。また、なかなか上陸することができない沖ノ島に2度も上陸することができたが、赤外線を用いた林縁部の草むらのデジタルビデオカメラ撮影では何も得られなかった。かつて記録されたオキノシマジネズミの痕跡すら得られなかった。

表5-2 実施調査で確認されたほ乳類の内訳

調査地域	調査年月日	species	B.W.	H.B.	T.L.	E.L.	H.F.	sex	Rep.condition	
樽見川上流	2006/4/15	Apodemus speciosus	48.1	125	64	15.5	25	female	nipple erupted(1+0+2), Vagina open, P.S.(R3L4)	tail cut
樽見川上流	2006/4/15	A.argenteus	17.4	84	69.5	15	21.5	female	Vagina close	
樽見川上流	2006/4/15	A.argenteus	13.1	83.5	65	14.7	21.5	female	Vagina close	
樽見川上流	2006/4/15	A.argenteus	17.25	88	82	14.1	22.5	male	(4.0*2.5)	
樽見川上流	2006/4/15	A.argenteus	17.9	88	71	14.1	22	male	(4.5*3.0)	
樽見川上流	2006/4/15	A.speciosus	30.55	102	83.5	15	25	female	nipple erupted(1+0+2), one of which is only functional.	
樽見川上流	2006/4/15	A.speciosus	31.1	108	88.5	15	25	male	(6.0*3.5)	
孔大寺神宮	2006/4/22	Apodemus speciosus	33.65	107.0	95	15.5	25	female	nipple erupted(1+0+2),Vagina close.P.S.(L2+R2)	
大島沖津宮の裏山	2006/6/11	Mus musculus	10.6	70.0	57.5	14.9	6.5	female	close(uterus enriched)	
許斐山	2006/10/29	Crociodura dsinezumi	5.7	48	37	3	11	male	(2.0*1.0)	

(2) フィールドサインによる調査

本調査で確認されたフィールドサインは足跡、糞、坑道、土耕跡で、コウベモグラ、テン、ノウサギ、イノシシが生息している可能性が示唆された。

表5-3 確認されたフィールドサインの内訳

名 称	足 跡	糞	坑 道	土耕跡	球 巢	ソナグラム
コウモリ類		○				○
コウベモグラ			○			
テン		○				
イタチ類		○				
カヤネズミ					○	
ノウサギ		○				
イノシシ	○			○		

(3) 目撃による調査

本調査によって目撃された種は以下の通りであった。

- ・ノウサギ

死体を精査することによって確認できた種

- ・ジネズミ
- ・ハツカネズミ
- ・カヤネズミ
- ・ヒメネズミ
- ・アカネズミ

（４）旧宗像市における調査

合併前の旧宗像市によっておこなわれた環境管理計画策定のための実地調査(1995)においては冠地区の笹山、田々越、奥ノ裏に接する用山においてカヤネズミ、アカネズミ、ヒメネズミを捕獲し、テン、イタチ、イノシシのフィールドサインを確認しており、許斐山ではアカネズミとヒメネズミを捕獲している。

吉田博一・渡部 登 1995 2. 宗像市のほ乳類. 宗像市環境管理計画「基礎調査編」
策定業務報告書：4-10、九州環境管理協会.

（５）宗像市に生息すると思われるほ乳類

宗像市内でおこなった実地調査や市民見識者によるアンケート調査などによって、ほぼ現時点におけるほ乳類の生息状況が明らかになった。生息が確認されたほ乳類は表5-4に示す7目10科16属17種である。十数年前におこなわれた旧宗像市の調査よりかなり生物の多様性は減少しているとはいえ、自然は所々に取り残された形でまだ残されているが、このまま放置すれば残された生物は次第に減っていき、都会に生き残っているハツカネズミやドブネズミなどの生物相になっていくものと思われる。しかし、周辺の丘陵部には何らかの保護を施せば里山にふつうの生物は何とか生き残るものと思われる。

表5-4 宗像市に生息すると思われる哺乳類

哺乳綱	Mammalia
モグラ目（食虫目）	Insectivora
トガリネズミ科	Soricidae
ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>
モグラ科	Talpidae
ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>
コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>
コウモリ目（翼手目）	Chiroptera
ヒナコウモリ科	Vespertilionidae
アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>
サル目（霊長目）	Primates
オナガザル科	Cercopithecidae
ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>
ウサギ目	Lagomorpha
ウサギ科	Leporidae
ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>
ネズミ目（齧歯目）	Rodentia
ネズミ科	Muridae
カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>
アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>
ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i>
ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>
クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>
ネコ目（食肉目）	Carnivora
イヌ科	Canidae
タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>
イタチ科	Mustelidae
テン	<i>Martes melampus</i>
チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>
ウシ目（偶蹄目）	Artiodactyla
イノシシ科	Suidae
イノシシ	<i>Sus scrofa</i>
シカ科	Cervidae
シカ（ニホンジカ）	<i>Cervus nippon</i>

※沖ノ島ではクマネズミが20匹捕獲され、生息が確認されている。